

ステーション収集と戸別収集の比較

	ステーション収集	戸別収集（福岡市）
設置場所	歩道上，空き地，公有地など さまざま	家の前の公道上
設置の目安	10～30世帯につき1箇所	1世帯につき1箇所
設置数	1万～5万箇所	戸建て 約17万箇所 集合住宅 約6万箇所
形状	収集日に決められた場所に ・コンテナが置かれる ・柵で仕切られる ・ネットがかぶせられる などが行われる場合が多い	何もない
場所の把握方法	住宅地図などにポイントを明示して把握	住宅地図に収集ルートを示して把握
持ち去り禁止看板等	掲示可能（条例制定都市はすべて掲示）	掲示困難（集合住宅は掲示可能）
場所の決定方法	地域で話し合っ決定（輪番制で毎年変更の場合あり）	排出者が決定（主に玄関前）
管理	地元で管理（多くは輪番制）	各戸で対応
利便性	低い（排出場所まで数m～100m程度）	高い（家の前）
収集効率	効率的	非効率的
その他	○不適正排出の場合，排出者が特定されにくい ○用地の確保が必要	○不適正排出の場合，排出者が特定されやすい ○用地の確保は不要